



改元を通して

～笑顔あふれる楽しい学校～ 校長 山中栄治



令和元年も残すところ、わずかとなりました。正門付近の木々も葉を落とし始め、冬の到来を告げています。12日(木)、今年1年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」が清水寺で発表され、令和の「令」の文字が選ばれました。日本漢字能力検定協会がその年の世相を表す漢字一文字を公募し、最も多かった字が選ばれます。平成が終わり、元号が令和になった今年、21万6325票の中から、3万427票を獲得した「令」の文字が選ばれ、清水寺の森清範貫主が大きな和紙に筆で書き上げました。協会は「令」が選ばれた理由として新しい元号の「令」和に明るい時代を願う国民の思いが集約されたとしています。清水寺の森清範貫主は、「元号が変わり、皆さんの気持ちが新しくなったのではないかと思います。これからの時代も皆で仲よく、力を合わせて生きていかなければいけないと改めて感じた」と話していました。

急速な社会の変化により、生徒が社会で活躍する頃には、現在ある職業の半分がAIに代わり、現在は存在しない新たな職業に就くと言う学者もいます。令和2年を迎えるにあたり、改元を通して、これからの時代で生きる生徒たちに必要な力とは何かを改めて考えるきっかけとなりました。生徒一人一人が学び、人と関わり、自分や周りの人のことを考えることは、どのような時代でも大切なことです。

12月の初めから1月まで、3年生は令和最初の入試に備えて面接練習を始めています。各自が面接表に記入したことについて、次のような質問をしています。
①なぜ、その高校を志望するのか。②高校ではどのよ

うな生活をするのか。③将来、進路をどのように考えているのか。④中学校3年間での思い出、取り組んだこと。⑤自分の長所や短所などです。緊張して思うように話をする事ができない人もいました。面接は、練習をしっかりと行うことで、緊張や不安を取り除き、本来の自分をアピールすることができるようになるものです。生徒によっては、一字一句丸暗記している人もいるかもしれません。面接は、「相手に自分の気持ちや考えをいかに伝えることができるか」です。要点を覚え、志望動機や自己PRのイメージを頭の中で固めていくことです。面接練習を通して、「自分自身と向き合い、自分自身を知ってほしい」ということです。3年生の大きな成長を感じて、全員が希望する進路をつかみとることを願っています。

【2年生鎌倉フィールドワーク】

11月29日(金)、2年生は「いざ鎌倉へ！ 深めよう歴史と友情 高めよう我らのチームワーク」というスローガンのもと、鎌倉フィールドワークを実施しました。武蔵小金井駅で班毎にチェックを受け、事前に決めたコースに従って、鎌倉市周辺の班別行動を行いました。班行動中は、「チェック時間に少し遅れます」等、本部携帯に連絡が入る場面もありましたが、本部の指示を受けながら、班行動を続けていました。全ての班が事故や怪我などの大きなトラブルもなく、無事に終えることができました。

今回のフィールドワークは、修学旅行に向けての事前練習も含まれています。柔らかな光が降り注ぐ中で、班の仲間との絆も深められ、とてもいい鎌倉フィールドワークになりました。





フィールドワーク 1年4組 西 友里絵

一年間の行事の中で、一番楽しみだった音楽祭も終わり、私は音楽祭の次の行事の、フィールドワークもすごく楽しみだった。けれど、準備期間も当日も、予想以上に大変だった。

私はフィールドワークの班長を担当していて、うまく班員と協力できるのか、まとめられるのか、時間通りにすすめられるかや、電車を間違えないかなどの不安が数えきれないほどあったが、それでも当日が楽しみなのは変わりなかった。いざ班も決まり、コース決めをはじめた時、私は、こんなにも一人ひとりの意見を聞いて、みんなの意見を合わせて、全員に納得してもらおうのが大変なんだと思い知らされた。まず、行きたい所が全員バラバラで、やっと行く所が決まったけど、昼食場所がまだだったりしてすごく大変だった。でも、班全体で大変なことを乗り越えていくことによって、班の仲が良くなっていくのがうれしかった。その後、予定がうまくいかず残ることもあったけど達成感があった。

そして待ちに待った11月26日。6班は遅刻者、体調不良もいなくて全員で行けて良かった。最初は東京スカイツリーに行った。当日は曇っていたけど、雲がうすくなっている所はきれいだった。ここでさっそう、出口を間違えて駅の様子が分からなくなってしまい、予定していた電車に乗れなくなってしまった。その時なんだかんだ言いながらも協力してくれた班の人がありがたかった。けれど、一番大変だったのが昼食チェックだった。場所が分からなくてあきらめかけた時に先生を見つけられてほっとしたのもつかの間、昼食場所を伝えたら、駅の中だから余計にお金がかかってしまうと言われ、結局昼食場所は別のところになってしまった。他にも色々あったけど、今思い返してみれば、すごくいい経験になったし、いい思い出だと思う。武蔵小金井に帰るまでは、全員たましいが抜けたみたいな感じだったけど、今となればフィールドワークの失敗談は笑い話になっている。

これで1年生の行事が全部終わったけど、フィールドワークだけでなく、音楽祭や運動会、一学期のフィールドワークなどで学んだことをこれからも、2年生になっても忘れずに生かしたいと思った。

「都内巡りフィールドワークを終えて」 担当教諭 高瀬 哲平

中学校の1年で行う都内巡りフィールドワークは、生徒だけで校外に出て学ぶ、初めての行事でした。事前学習が9月に始まり、中間考査・音楽祭・期末考査と忙しい中、都内巡りフィールドワークの準備も並行して進めてきました。



1学年の生徒は、運動会や音楽祭を通して、クラスのみならず協力して取り組むことを経験しました。しかし、フィールドワークでは、班で協力して見学地・ルートの決定、当日の動き、まとめ学習を行います。クラスで取り組む行事と違い、人数の少ない中でフィールドワークを成功させるためには、一人一人の自覚と責任感が今まで以上に求められました。ある意味では、1学年の生徒の力が試される行事であったと思います。

フィールドワークの担当教員として、実行委員と一緒に活動するなかで、このフィールドワークを成功させたいという実行委員の思いを強く感じました。最初の実行委員会で、「3年生の修学旅行につながる大切な行事」ということを伝えたのですが、実行委員の生徒は、私が期待した以上にその言葉を理解し、成功させるためには何か必要であるのか考え、行動してくれました。また、各クラスの生徒も、そんな実行委員の思いを真摯に受け止め、考え行動した結果、大きなトラブルもなく、当日を終えることができました。何よりもうれしかったことは、生徒だけで校外に出る初めての行事で、ルール違反がなかったことです。教員の目がない場所でも、ルールを守って行動できたのは、生徒一人一人の自覚と責任感の賜物だと思います。

班で事前学習から事後学習まで取り組む中で、様々な葛藤があったと思います。また、小さなトラブルも沢山あったと思います。それぞれが感じたことや、反省点を、普段の学校生活・2年生の鎌倉フィールドワ

ークや3年生の修学旅行にいかすことができれば、大成功の都内巡りフィールドワークであったと言えます。現状、大成功の都内巡りフィールドワークです。今後の1年生の取り組みに期待します。

最後になりますが、都内巡りフィールドワークを無事に終えることができたのは、保護者の皆様のご協力のおかげだと思います。今後とも、教育活動へのご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

「鎌倉フィールドワークの良かった点と反省点」 鎌倉フィールドワーク実行委員

事後アンケートへの協力、ありがとうございました。

集計し実行委員で見た結果、まずは良い点が3点ありました。

- ①アクシデントに対して、しおりをしっかりと見て素早く対応できた班が多くあった。
- ②食事マナー・決まり・持ち物・服装については一部を除いてほとんど全員が守っていた。
- ③多くの人が係の活動にも責任をもって取り組むことができ、スローガンを達成できた。

臨機応変に対応することや、多くの人が守るべきルールを守ることができ、良かったです。これからの学校生活につなげていきましょう。

次に、反省点は2点ありました。

- ①班行動の部分に課題が多くあった。
- ②チェックの時間を守ることや、計画通りに見学地を回ること、班行動の3原則を守ることがあまりできていないことが分かった。修学旅行では、事前から当日の動きをよりよくイメージして、完璧な班行動をとれるよう、学年みんなで意識してがんばっていきましょう。



「2 学年 鎌倉フィールドワークでの学び」 担当教諭 吉田 翔太郎

2学年鎌倉フィールドワークのスローガンは

「いざ鎌倉へ！ 深めよう歴史と友情 高めよう我らのチームワーク」でした。

実行委員は学年をよりよいものするためには「チームワーク」が必要となることを自分たちで感じとり、2学年の生徒に示しました。

この学年の生徒には考えて行動し実現する力があることを、常々感じさせられます。

それから実行委員では班名簿の作成、決まりの検討、しおりの作成など、まさにフィールドワークの骨格を作る役割を進めていきました。生徒たちもスローガンのもと、係会と班会議、見学地の調べ学習、班の学習目標・コースづくりに取り組んでいきました。

迎えた当日は電車の遅延からのスタートでした。しかしそれでも、計画通りにコースを回るために常に時計を眺める生徒、見学時間をその時々でうまく調整する班の姿がありました。実行委員の思いを受け止めしっかりと学びきろうと、多くの班が責任を持ち臨機応変に行動することができました。

まとめの集会で、実行委員は各班で撮影した写真で作成したスライドショーを発表しました。さらに、課題があると感じた実行委員はアンケートの結果を細かくグラフにまとめ、今後の学校生活や修学旅行で持つべき意識について発表しました。学年全体にフィールドワークでの成果と課題が深く印象付けられ、成長につながる時間になったと思います。翌日、最後の実行委員を開きました。終わりの号令の時には涙を流す生徒もみられ、積み上げてきた思いの強さを改めて感じました。そして、すでに来年度の修学旅行に気持ちが向いていることが伝わってきました。自分で考えて行動して実現する力をさらに伸ばし、これから様々なことに挑戦していく姿を見るのが今から楽しみです。

最後になりますが、鎌倉フィールドワークを、大きなケガなどがなく終えることができたのは、保護者の皆様のおかげです。今後とも、本校への教育活動へのご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。



二中学生の活躍

- バスケットボール（男子）
第15回アミューズカップ
- 薬物乱用防止ポスター・標語
一度でも自分の魂 食い尽くす 甘い誘惑 断固拒否
薬物に手をのばしたら その瞬間 闇に包まれる あなたの未来
手に取るな あなたの未来 こぼれ落ち すべての幸せ うばわれる
君のこと 大事な人なら 誘わない
- 中学生人権作文コンテスト
多摩東人権擁護委員協議会長賞

準優勝

会長賞 綾野 日菜(1-4)
佳作 角田 愛来(3-2)
佳作 岩井 千華(1-1)
佳作 岡峰 千花(1-1)



小林 海翔(2-1)

体罰アンケートの実施について

学校として、体罰や暴力のない楽しい学校生活づくりを目指し、生徒に「暴力はいけないこと」について講話を行い、各学級では、楽しく学校生活を送ることができるようにするために、生徒に体罰アンケート調査を行いました。

各家庭においても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについて御確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いします。

給食費・教材費口座について

12月14日(土)~16(月)に2年生と1年生に配布しました口座変更手続きの書類は、保護者の皆様のお手元に届きましたでしょうか。

来年4月からの「JA東京むさし」自動振替手数料の有料化にとめない、「ゆうちょ銀行」へ口座の変更をお願いすることとなりました。

令和2年1月31日(金)までに手続きをお願いいたします。

一月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水	元旦	18	土	
2	木		19	日	
3	金		20	月	生徒会朝礼
4	土		21	火	
5	日		22	水	私立推薦入試 都立推薦出願 職員会議
6	月		23	木	
7	火	冬季休業日(終)	24	金	連合作品展(始) 職場見学(6組) 英語検定
8	水	始業式 安全指導 職員会議	25	土	私立一般出願
9	木		26	日	都立推薦入試
10	金	専門委員会	27	月	都立推薦入試
11	土		28	火	連合作品展(終)
12	日		29	水	
13	月	成人の日	30	木	
14	火		31	金	教科展準備 都立推薦発表
15	水	私立推薦出願 市教研	2/4(火)学校公開・教科展示(始)		
16	木		5(水)小金井教育の日 都立一次出願 6(木)職場訪問【1年】		
17	金	避難訓練 漢字検定	7(金)新入生児童説明会		
			10(月)~12(水)都内私立一般入試 21(金)都立一次入試		
			26(水)27(木)28(金)学年末考査		

